

調査4 今後の景気対策等についての主な意見・要望

- 自動車業界の立ち直りで弊社も恩恵を得た。(製造業)
- コロナ後の生産が元に戻らない。海外部品メーカーが元に戻るまでの間の資金対応が必要。(製造業)
- コロナ禍で需要は落ちているが、まだまだ出来ることがあると思うので努力していきたい。(製造業)
- 建設関係の仕事はどの業種もそれほど影響はない感じ。(建設業)
- コロナに対する国の補助はありがたいが、このあとどのような課税対策がのしかかってくるか不安。(建設業)
- 宿泊事業者向け助成金はあるが、民泊は対象外の場合が多く、資金繰りが逼迫すると考えられる。(サービス業)
- ワクチンが出回れば心理的に違ってくる。(サービス業)
- コロナに対して「慣れ」が生じている中で、どのようにスタッフ一人一人に意識させ体調管理させていくことと、国や自治体が今後どのように対応するか決まらないと動きがとれない。(サービス業)
- 翻訳業界には大きな打撃はなかったが、アイデア商品の実演販売は止まったままである。(サービス業)
- 現時点では売上減少は1～2割程度。今後景気が悪化していけば(顧客が)4000円カットしてたのを1000円カットですまされると更なる売上減少になる。(サービス業)
- コロナ収束しか考えられない。(サービス業)
- GoToトラベルで市場拡大を図る。対面の営業ができない。(サービス業)
- コロナが収束すれば、百貨店等の催事やイベントが継続され仕事の増加が見込まれる。(サービス業)
- 当店の規模だと50万や100万ではどうにもならない。業種に応じた支援が必要。(サービス業)
- 新年度も持続化給付金を実施して欲しい。(飲食業)
- 営業時間や営業内容を変えていかなければならないのかと考えている。(飲食業)
- コロナが落ちつかないと厳しい状況が続くと思う。(飲食業)
- 売上看見合った補償をして欲しい。(飲食業)
- どうしようもない。(飲食業)
- 1～2割のお客(20～60代)が、感染予防対策をしていない。国又は東京都よりお客様に対してのある程度現実的な食事をする時の感染予防マナーをしっかりと指示していただきたい。不要不急の行動ラインが未だにわからない。(飲食業)

- コロナの影響で売上が伸び悩んだ。(小売業)
- コロナの影響で人の流れが変化するので、コロナ次第である。(小売業)
- ウィルス相手では、打つ手はない。(小売業)
- ネット通販はコロナにより利用率が増加しているが、新規参入業者が増え価格競争が厳しい。(小売業)